

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第2区分  
 【発行日】令和5年1月20日(2023.1.20)

【公開番号】特開2022-169572(P2022-169572A)  
 【公開日】令和4年11月9日(2022.11.9)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-206  
 【出願番号】特願2022-124125(P2022-124125)  
 【国際特許分類】

G 0 2 B 27/02(2006.01)

G 0 2 B 5/18(2006.01)

G 0 2 B 5/30(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 27/02 Z

G 0 2 B 5/18

G 0 2 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月10日(2023.1.10)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

頭部搭載型ディスプレイシステム上に画像コンテンツを表示するための方法であって、前記方法は、

導波路スタックを備える接眼レンズを提供することであって、前記導波路スタックは、第1の内部結合光学要素を備える第1の導波路と、

30

第2の内部結合光学要素を備える第2の導波路と

を備え、前記第1の導波路は、前記第2の導波路の上にある、ことと、

多重化された光流を前記導波路スタックの中に指向するように構成される画像投入デバイスを提供することと、

前記画像投入デバイスから前記導波路スタックまで前記多重化された光流に伝搬させることであって、前記多重化された光流は、第1の光流と第2の光流とを備え、前記第1の光流は、前記第2の光流とは異なる波長および異なる偏光を有する、ことと

を含み、前記第1の内部結合光学要素は、前記第1の光流を前記第1の導波路内に選択的に内部結合する一方で、前記第2の光流に対して透過性であり、

前記第2の内部結合光学要素は、前記第2の光流を前記第2の導波路内に内部結合する、方法。

40

【請求項2】

前記第1の内部結合光学要素および前記第2の内部結合光学要素は、透過性状態と能動的な再指向状態との間で切替可能である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の内部結合光学要素および前記第2の内部結合光学要素は、メタ表面を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記第1の内部結合光学要素および前記第2の内部結合光学要素は、P B P E構造を備える、請求項1に記載の方法。

50

## 【請求項 5】

前記画像投入デバイスから前記導波路スタックまで前記多重化された光流に伝搬させることは、異なる時間に前記画像投入デバイスから前記導波路スタックまで前記第 1 の光流および前記第 2 の光流に伝搬させることを含む、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 6】

前記導波路スタックは、前記第 1 の導波路内を伝搬する前記内部結合された第 1 の光流を出力するように構成された外部結合要素を備える、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 7】

前記外部結合要素は、少なくとも 1 つの軸に沿ってアイボックスの寸法を増加させるように構成された第 1 の群の光再指向要素を備える、請求項 6 に記載の方法。

10

## 【請求項 8】

前記外部結合要素は、前記少なくとも 1 つの軸に直交する軸に沿って前記アイボックスの寸法を増加させるように構成された第 2 の群の光再指向要素を備える、請求項 7 に記載の方法。

## 【請求項 9】

前記画像投入デバイスは、走査光ファイバである、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 10】

前記画像投入デバイスは、光変調デバイスを備える、請求項 1 に記載の方法。

20

30

40

50